

Scope 45

名城大学理工学部後援会 会報誌 スコープ 2018

Scope 45

名城大学理工学部後援会 会報誌スコープ 2018

平成30年5月25日 発行
[編集] 名城大学理工学部後援会 編集担当委員会
[制作・印刷] 株式会社ブリアートコーポレーション
[発行] 名城大学理工学部後援会事務局
〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
Tel 代表 052-832-1151 (内線 2580)
Tel・Fax 直通 052-831-9214
E-mail jimukyoku@meijo-rikokoen.jp
<http://www.meijo-rikokoen.jp>

名城大学理工学部後援会

◀ 検索



Meijo University
Faculty of Science and Technology.
Supporters' Association.

理 工 D R A M A T I C

Scope 45

名城大学理工学部後援会 会報誌 スコープ 2018

もくじ

- 02 特集 社会で活躍する先輩たち
理工 DRAMATIC
- 09 「世界の名城大」ブランドの構築
理工学部 2018
- 15 理工ロマンの旅 VOL.6
からくり人形
- 17 名城大学理工学部から羽ばたく
卒業生インタビュー
- 18 理工学部後援会の活動
- 19 フレッシュマンセミナー
- 21 ご父母のための進路セミナー
- 25 地区懇談会
- 29 家庭教育支援セミナー
- 31 学生奨励表彰式
- 33 その他の活動紹介

MISSION 3

MISSION 2

MISSION 1

安全・快適を追求する

企業力を高める

道をつなげる



平成30年度 名城大学 CALENDAR

4 2018	1(日) ● 入学式・新入生オリエンテーション 2(月) ● 新入生オリエンテーション 3(火) ● 前期授業開始日 上旬 ● 履修登録期間 上旬 ● 健康診断	9	6(木)・7(金) ● 追加履修登録期間 14(金) ● 後期授業開始日 22(土) ● 開学記念日 下旬 ● 9月卒業式	1	5(土) ● 授業再開日 8(火)・15(火) ● 補講日 18(金) ● 大学入試センター試験準備(5時限~) 19(土)・20(日) ● 大学入試センター試験 12(土)・16(水)~24(木) ● 定期試験(予備日1/25(金)) 31(木) ● 入試準備
7	17(火)・18(水) ● 補講日 23(月)~31(火) ● 定期試験(予備日8/1(水))	10	31(水) ● 大学祭準備	2	上旬 ● A・F・M入試 7(木) ● 定期試験成績発表 中旬 ● B・F入試 14(木)~20(水) ● 追・再試験期間 下旬 ● 転学部等試験
8	1(水) ● 試験予備日 4(土)・5(日) ● オープンキャンパス(天白) 8(水)~17(金) ● 窓口閉鎖期間 21(火) ● 定期試験成績発表 27(月)~30(木) ● 追・再試験期間 未定 ● 夏季集中講義期間	11	1(木)~3(土) ● 大学祭 4(日) ● 大学祭後片付け 上旬 ● スポーツ推薦入試 中旬 ● 公募制推薦入試	3	20(水) ● 卒業式 下旬 ● 在学生健康診断 下旬 ● 次年度在学生ガイダンス
		12	27(木) ● 年内授業終了日 12/28(金)~1/4(金) ● 窓口閉鎖期間		

最新情報は名城大学ホームページをご覧ください。 <http://www.meijo-u.ac.jp/>

表紙絵 中林万里子
愛知県立芸術大学大学院修了、岐阜県土岐市在住。モロッコの文化に魅せられ創作活動をする画家。名城大学のキャンパスをエンコースティックという蜜蝋画で描いていただきました。

緻密な管理で

安全・確実に道をつつなぐ



とにかくプラス思考

羽田新輝

厳しい気象条件に打ち勝つ

現在私が働いているのは、山形県を縦断する東北中央自動車道の建設工事を進めている蔵王工事区です。トンネルを掘ったり、川に橋を架けながら高速道路の開通を目指す現場で施工管理を任されており、発注者の委託を受けて現場との間に立って施工の状況を確認・管理し、発注者に逐次報告する仕事です。

蔵王の現場は、夏は暑く冬は雪深いこともあり、外に出ることが嫌になりそうな日もあります。しかし、現場で勇ましく働いている方々を見て、「弱音を吐いてはいけない」と気持ちを改めたりしながら業務にあたっています。

私が担当している橋の工事では、これまで硬いイメージだったコンクリートが、気温や風雨に影響される繊細な生モノであることを初めて知りました。また、トンネル工事に関しては設計要領と施工管理要領等を熟読して、施工の方法や確認すべき事項を頭の中に叩き込み、確認する必要性も考えながら現場に臨んでいます。そうして、着々と伸びていくトンネルや日ごとに姿を変える現場を見て、携わっている工事の大きさを実感しています。



自分の使命を全うする

「こんな若い人が施工管理を？」と驚かれることもあります。これは、「現場経験はコンサルタント技術者の成長に必要不可欠」という会社の方針によるもので、至らない部分は上司にサポートしていただきながら知識、経験を積み重ねています。しかし、現場では経験が少ないからといって生半可な管理は許されません。発注者が求める建造物をつくるために、気になることはとことん指摘することが自分の使命だと思っています。仕事をしていく中で、何事も自分で見て考え、調べ、行動すること、そして失敗しても前を向くプラス思考でいることの大切さを感じています。



上司・仲間



尊敬する上司と心許せる同僚

上司のアドバイスで印象に残っていることは「自分から積極的に人の話を聞いて、周りの状況を把握しながら仕事をしなさい」ということ。上司自身が、常に2歩3歩先を見ながら仕事ができるのはこのためかと納得しました。私は何かをやり始めると没頭してしまうので、もっとアンテナを張ることに意識をしなければと思っています。

また、同僚は偶然にも名城大学理工学部出身で、入社後も保全部、施工管理部と同じ道を歩んできました。何でも言い合える存在で、休日にご飯を食べに行くこともあります。

私と同僚の現場経験の少なさを上司に補っていただきながら、チームで仕事に取り組んでいます。

よき理解者に支えられて

結婚直後に岐阜の本社から山形への転勤が決まり、地元を離れてついてきてくれた妻には感謝しています。仕事についても理解してくれている妻が家で待っていると思うと、仕事のモチベーションも上がりますし、現場で絶対に事故に遭ってはいけないと気が引き締まります。

家族



私の学生時代

自分の考えを尊重してくれた両親

在学中、父は単身赴任だったので話す機会が少なかったのですが、母との会話は多かったと思います。しかし大学や就職、進学の話はほとんど話していません。大学院への進学も、就職が決まった時も事後報告でしたが、「それならがんばれ」と背中を押してくれました。

大学院への進学を決めた研究室の葛先生との出会いは、私にとって大きな転機でした。勉強をおろそかにしていたそれまでの自分と決別し、大学院では勉強に励みました。豊富な資材や研究環境に恵まれ、仕事の現場で役立つ知識を学生時代に培うことができました。



大日コンサルタント株式会社
マネジメント事業部
施工管理部 蔵王工事班

はだ しん き
羽田 新輝さん

平成24年 3月 名城大学理工学部
建設システム工学科卒業
平成26年 3月 名城大学理工学研究科
建設システム工学専攻修了
平成26年 4月 大日コンサルタント(株)入社
コンサルタント事業部
保全部配属
平成29年 4月 同社 マネジメント事業部
施工管理部配属

コスト・コントロールで 企業力を高める



明るく楽しく 元気よく!!
三浦 文恵

グローバルな生産活動の管理

矢崎計器株式会社は、自動車用部品の開発、製造、販売を主力事業とする矢崎グループの一員で、自動車用メーターが主力製品です。その中で私は、国内と海外14カ国、計39工場のメーターやその部品を製造する工場の操業度や生産実績の管理を行う部署に所属しています。

具体的に私が担当する業務は大きく二つあります。一つは各工場との日々のやり取りを通じ、生産が計画通りに進んでいるかの確認、もう一つは工場の皆さんの努力を正確に評価できるような指標づくりとその運用です。生産は生きものだからと管理を怠ってはいけません。ときに予期せぬ異常やトラブルが発生します。そのようなときは職場の上司や先輩、そして現地の関係者と緊密な連携をとりながら対応しています。

生産活動はものづくりの会社にとっての生命線です。それを統括し管理するという、重要な任務の一端を私が担っていることを思うとき、不安を全く覚えなないといえれば嘘になります。ただ、愚直に生産活動に打ち込む工場の皆さんから業務を通じて学ぶことも多く、自分が成長したという実感を持てる、とてもやりがいのある仕事だと思っています。



正確な現状把握と、的確な情報発信

国内だけでなく海外の工場ともやりとりをするため、正確な意思疎通を心がけています。相手の話を聞いて理解したと思っても、相手が伝えたい意図とは違っているかもしれない。そのため業務上の依頼や伝達事項がある場合には必ず内容の目的と、こちらにどういった対応を求めているのか？常に正確な現状把握ができるように気を配っています。

また自分の考えと相手の理解に齟齬が生じないよう、考えをきちんと整理してから発信することも大切です。業務を円滑に進めるためには、その両方を備えなければいけないと感じています。



上司・仲間

話しやすく頼れる上司

上司とは普段から気軽に雑談などもできて、様々なことを相談しています。特に印象に残っているのは、私がリーダー職を目指そうと考えたときのこと。自分には向いていないんじゃないか？という思いもありましたが、上司から、「やり遂げる能力を持っていると思うし、挑戦してみたら？」とアドバイスいただき、背中を押してくださいました。それからは目指すべきリーダー像を考え、自分がやるべきことを意識して行動するようになりました。



家族

尊敬できる、よきパートナー

職場で知り合った夫と二人で暮らしています。私自身はまったく海外志向がなかったのですが、夫は海外で学会発表をした経験があり、社内の海外研修にも参加していました。そんな夫の話を聞くうちに自分でも海外の空気を感じてみたいと思うようになり、初めて海外旅行を経験。新しいことに挑戦しようという気持ちがより強くなりました。

また私はサクソ、夫はピアノと、お互いに楽器演奏を趣味としています。一緒に演奏したり、時々カフェを借りて仲間に披露したりしています。仕事では頼れる先輩であり、プライベートでも楽しい時間を共有できる、よきパートナーです。

私の学生時代

私を支えてくれた家族のサポート

家族はいつも私のやりたいことを尊重してくれました。就職の際には「自分のやりたいことにチャレンジしなさい」といってくれたおかげで、地元である愛知県内の企業にとどまらず、遠方の企業も視野に入れて幅広く挑戦できました。

また在学中は吹奏楽部に在籍していて、夜遅くまで部活動と課題に追われることもあり、家族にはとても心配をかけました。両親には、「両立は難しいんじゃないか？」と言われたこともありましたが、それでも母親は毎日お弁当を作ってくれるなど、いろいろな面で応援してくれました。おかげで大学4年間を意欲的に過ごすことができたことに感謝しています。



矢崎計器株式会社
ECI生産管理室 管理統括部

みうら ふみえ
三浦 文恵さん

平成21年 3月 名城大学理工学部
材料機能工学科 卒業
平成21年 4月 矢崎総業(株) 入社
平成21年12月 矢崎部品(株)
技術開発室 コネクタ開発
設計センター 配属
平成27年 8月 矢崎計器(株)
ECI生産管理室
管理統括部 配属



自動車シート設計で 安全と快適を追求する

チームで担う重要な設計工程

自動車用シートには、鉄やウレタン、樹脂、表皮など、様々な素材の部品が数多く使われており、3〜4年の期間をかけて開発・設計を行います。お客様である自動車メーカーのシート開発担当者と直接やり取りをしながら、素材の提案や選定を行い、形状や機能の設計をすることが私の主な業務です。

シート設計は、素材や機能によってチームを構成して取り組みます。お客様が望むシートを量産レベルまで無事つなげられるよう、自分の専門知識や経験をチームの中で発揮しながら、一丸となって取り組むことが大切です。また、設計工程はものづくりの上流に位置しているため、何か問題が発生すると後工程や納期にまで影響が及ぶ重要な工程です。不具合が発生した際の対応も私の業務のひとつであり、お客様の量産開始日が決まっている中で、いかに短期間で対策案を出し、解決をして、製造ラインに返せるかが勝負になります。納期を守るためには万全な計画が必要であり、常にスケジュールを理解し、考えて行動することが求められる仕事です。

自動車の快適性を高めるために

現在の自動車用シートには、運転者の安全を補助する機能をはじめ、走行中の振動を抑制したり、マッサージ機能を備えたものもあり、安全や乗り心地を向上させる様々な付加機能が生まれています。まだまだ飛躍するチャンスのある業界で、私自身も大きなやりがいを感じています。しかし、お客様の要求の中には難題もあります。技術的に難しい場合は代替案を提案し、納得いただけるレベルまですり合わせていきます。このような時に役立つのが、大学院時代に身につけた思考力です。研究中の問題を解決するために、物事をいろいろな視点から深く考えられるようになりました。このような習慣が今仕事をしていく中でとても役立っています。



計画を万全に！
藤江 卓至



仲間・後輩

本音を言い合える仲間や後輩

私自身オープンな性格なので、後輩とはお互いに意見を交わしやすい関係を保っています。飾らず、本音で話せることは、設計に携わる者として大切なことだと思います。また、今の勤務先には同期の仲間が7名おり、皆シートの設計をしているため、困った時は彼らに相談することもあります。「こんな事例があったけど、そっちなような事例はある？ 解決策は？」など、気軽に聞けるのは同期の仲間だからこそです。



学生時代

私の学生時代

技術系就職を希望し、徳島県から愛知県へ

私は徳島県から名城大学に進学しました。当時から技術系企業への就職を希望していたので、工業産業が盛んな愛知県の大学は魅力的でした。親戚や兄が愛知県に住んでいることも名城大学を選んだひとつの理由です。

在学中、技術系の就職を本気で考えた時、大学院での学びは必須だと感じ進学を決めました。研究室では流体力学の研究に打ち込み、限られた時間の中でいかに結果や成果を得るかを感じられた2年間でした。それを糧に就職活動に臨みましたが、結局は「どこに入るか？」ではなく、「そこに入って何をするか？」が大事だと思います。

見守り、応援してくれた両親に感謝

父親は、「狭い環境ではなく広い世界に出て社会経験を積んでほしい」という考えを持っており、私を名古屋まで出してくれました。在学中の両親との交流は、私が長期休暇に里帰りをした時に話す程度で、大学院への進学や就職先は自分の判断で決めました。その後、就職先が神奈川に決まり、両親のいる徳島県から遠くなるので、正直なところ両親の反応が心配でした。しかし、「何も気にせず、行って来なさい」と背中を押してくれたのは、とてもありがたかったです。



日本発条株式会社
シート生産本部 第二設計部

ふじえ たかし
藤江 卓至さん

平成23年 3月 名城大学理工学部
交通科学科 卒業
平成25年 3月 名城大学理工学研究科
交通科学専攻修了
平成25年 4月 日本発条(株)入社
シート生産本部
第二設計部 配属



「世界の名城大」ブランドの構築 工学部2018

11学科の学びと教養教育のご紹介

さまざまな可能性に
満ちた研究を通じて
次代に活躍する
人材を育成。



名城大学工学部 学部長
加鳥 裕明

理工学部の「新規ナノ材料の開拓と創製による名城大ブランド構築プログラムは、平成29年度の「私立大学研究ブランディング事業(世界展開型)」対象校となりました。2年連続で選ばれたのは全国で5校のみ、中部地区唯一で、材料関連の研究分野での高い評価の表れでしょう。

多様な可能性を秘めた研究は、次代のものづくりに貢献していくものと考えます。海外研修などを通じてグローバルな人材育成も行っており、「世界の名城大」ブランド展開をさらに進めます。

数学科



数学を通して
理解することを実感し、
思考能力を高める。

学科長 橋本 英哉

本科では数学を系統的に学べるよう代数学・解析学・幾何学・数理情報・計算機科学の5分野のカリキュラムを組んでいます。学びを通して確かな基礎力を養い、自ら考える力や選択能力を高めます。数学は、10年、20年後に熟成された成果を実感でき

る学問です。基礎学力の上に大学院で2年の思考実験や研究を行うことにより、数学科教員や企業人となった後の熟成度は、大きく変わってきます。人生百年時代をよりハイレベルな人材として生き抜くためにも、大学院への進学を推奨しています。

研究室 PICKUP



小澤哲也 研究室

自分から考え、確かめる力を高める



教養教育長 田中 義人

既存の知識を学ぶ高校での学習に対して、大学とは未知なるものを研究によって解明しようとする場であり、大学生として自ら考えて解決する力を身につけることが求められます。総合基礎・理工学基礎は、専門分野の研究に進むための土台を作るステップです。

数学・物理・化学など理工系の基礎力を身につけながら、人文科学、社会科学、語学など幅広い学修を通じて、多角的な視点で考える力を養います。また、学生たちには、世界へ羽ばたく心意気を持って英語力の習得にも積極的に取り組んでもらいたいです。

教養教育

「世界の名城大」ブランドは
学生が身につけた基礎力
によって支えられていく。

情報工学科



充実したプログラムと
学外との連携で
求められる人材へと成長。

学科長 山本 修身

IoT (Internet of Things) 時代を迎えて情報工学分野は幅広く展開している中、本科では、学生それぞれの目標に応じた体系的な知識習得のため、プログラム制を導入しています。また、プログラミングコンテストを通じてIoTエンジニア育成プロジェクト

「IoTを進めており、学生はハックソンやアイデアソン、各種IoT系コンテストへの参加を通じて主体性やグループワークによる協調性を高められます。さらに、企業人を招いた勉強会も開催しており、社会に求められる人材へと成長できます。

研究室 PICKUP

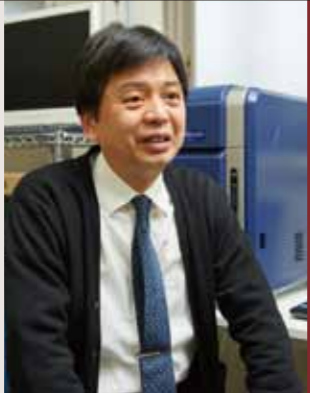


旭健作 研究室

未来へと発信する光通信の研究

旭研究室では、LEDを使った可視光通信システムに関する研究や、音響による接近自動車の検知に関する研究などを行っています。例えば、信号機の光により音声無線で視力の不自由な方に伝えるといった形で、より多くの人にとって快適となる将来の社会づくりに貢献する可能性に満ちた研究テーマです。学生たちが国内の学会や国際会議で発表する機会もあり、社会で活躍できる人材を目指して課題発見・解決能力やプレゼンテーション能力を高めています。

電気電子工学科



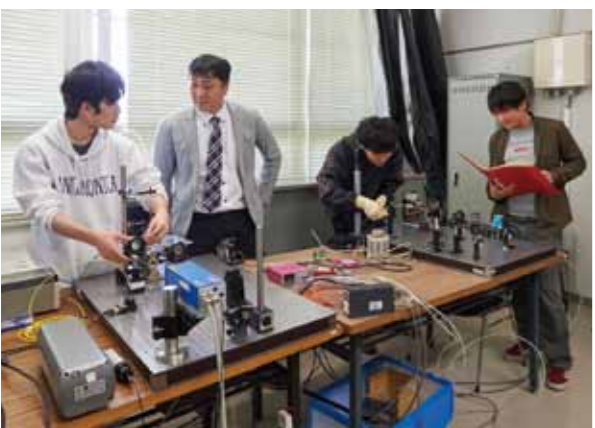
学生の興味・関心に応じて
コース制を導入し、
望む将来へとつなげる。

学科長 児玉 哲司

電気電子は、いわば「快適な未来をつくる」学問です。世界中で研究開発が進む例を挙げると、次世代バッテリー、再生可能エネルギー、ロボット、プラズマほか、多岐にわたります。本科では、電気工学コース・電子システムコースの2コース制で、先端

技術についての研究開発の基礎を学びます。より高いレベルの研究に取り組んだり、高度技術者となることを目指すのならば、大学院への進学をお勧めします。企業や学外研究機関との協同研究や、国際会議での発表を通して成長が可能です。

研究室 PICKUP



竹田圭吾 研究室

最先端のプラズマ技術がテーマ

プラズマとは、物質にエネルギーを加えることで固体→液体→気体と変化した先の、プラスの原子核とマイナスの電子がバラバラになった電離した気体のことです。プラズマ技術は、スマートフォンやパソコンに用いる電子デバイス開発・製造に活用されます。竹田研究室では、プラズマを使ったナノ材料の合成とデバイスへの応用をテーマに、プラズマ内の反応を測定したり、新しいナノ材料を開発するなどの研究を進めており、学生たちは最先端技術に接するやりがいを感じながら研究に取り組んでいます。

材料機能工学科



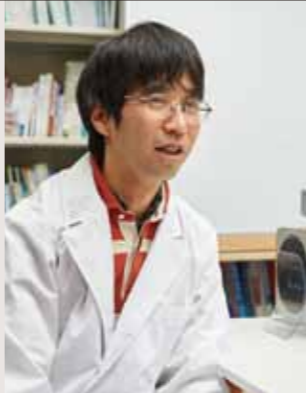
材料工学は、エネルギー、環境、資源などの世界的な諸課題の解決につながる分野です。本科ではLEDやカーボンナノチューブなどの新材料から機能性材料、生体材料まで、幅広い領域にわたる研究をしています。また、学生個々のレベルに応じたきめ

世界をリードすべく
高度な技術の
研究・開発に邁進する。

学科長 六田 英治

細かな指導による「実感教育」で学生の能力を高めていきます。大学院への進学者が多いのも本科の特長です。学生は国際学会での発表等を通じて自身の研究の重要性を再認識でき、世界を視野に活躍する研究者へと成長することが可能です。

応用化学科



本科では「合成化学」「物質・材料化学」「環境・エネルギー材料」の3領域を置いて学びを展開しています。ブランディング事業で注目されるナノチューブ状物質ほか、化学の視点から物質特性を研究し、他学科とも連携してこれまでにない新技術に育て

新技術の開発に
つながる研究を進め、
世界へと発信。

学科長 永田 央

上げたいと考えています。学生は、身近に優れた業績を持つ研究者がいる環境で、大きく成長できるでしょう。院生になると国際会議で発表する機会もあります。経験を糧にステップアップして、国際基準で評価される研究を追求してください。

機械工学科



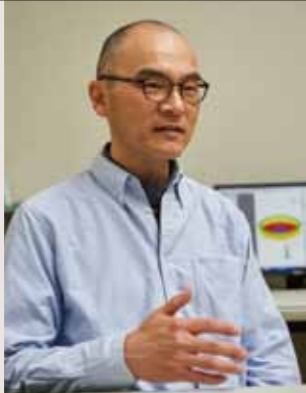
機械工学は、自動車、鉄道、航空機、工作機械、医療、環境、エネルギーほか、あらゆるモノとサービスに関わる総合的な技術です。本科は設計・実習・実験などの体験・実感型の実習科目が充実しており、特に3年次の「機械設計・製作」では、自ら発想し

海外の学生とも競い合い、
総合力を備えて積極的に
行動できる人材を育成。

学科長 藤山 一成

て仕様設計から製作・評価までのPDCAサイクルを体験します。また、グローバルコミュニケーション力を高めるべく、米国内カリフォルニア大学と連携して交流活動を実施し、広い視野を備え社会に貢献できる機械技術者を育成します。

交通機械工学科



自動車、航空機、鉄道車両等の交通機械の製造開発が盛んな東海地区にあつて、本科では交通機械のものづくりに必要な知識・技術はもちろん、環境や安全などの問題に対応できるセンスも身につけた技術者を養成し、50年近くにわたつて多数の人材

卒業後は、
交通機械の製造開発で、
世界をリードする人材に。

学科長 鈴木 昌弘

を輩出してきました。自動車業界では「百年に一度の変革期」と言われる今、本科では実社会での経験豊富な教員や最先端技術に接する機会を通して、次代に活躍する人材へと成長できます。大学院で専門性を高め、より高みを目指すこともお勧めします。

研究室 PICKUP



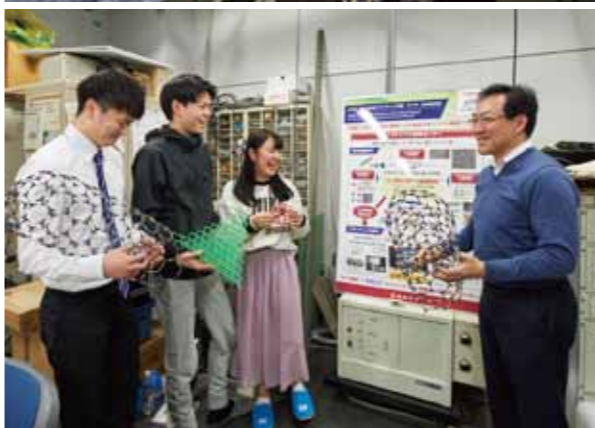
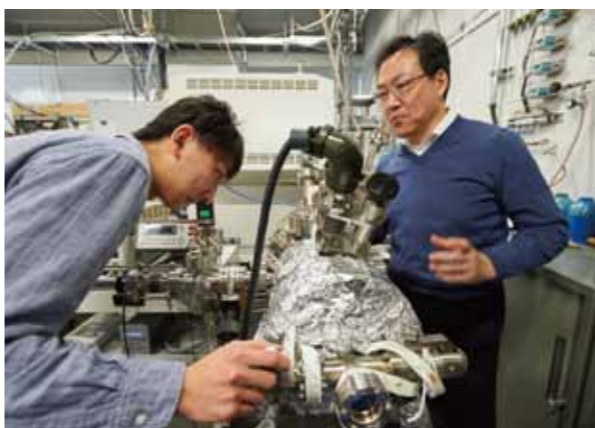
榎本和城 研究室

軽量化に不可欠なプラスチックと複合材料

榎本和城准教授は学生に「実験は、うまくいかなくて当たり前。失敗を恐れずチャレンジを重ねた先にこそ成功があり、その達成感を味わってほしい」と言います。榎本研究室が研究テーマとするのは、プラスチックおよびコンポジット(複合材料)です。実験室ではプラスチックとナノカーボン、プラスチックと天然繊維などの複合材料を製作して強度計測等をしており、学生たちは自発的に計画・行動して次代のものづくりに役立つ複合材料を探っています。

丸山隆浩 研究室

カーボンナノチューブの研究開発



丸山研究室では、軽量・高強度・柔軟などの特性を持つカーボンナノチューブについて、炭素の配列など構造を変えることで、導電性などの特性を変化させることを試み、新素材の開発を進めています。昨年11月に創設されたナノマテリアル研究センターのセンター長でもある丸山隆浩教授のもと、シンポジウム等を通じて研究成果を発表するなど国内外に広く名城大学の高い研究レベルを知らしめており、学生たちも世界水準を実感しながら実験・分析に取り組んでいます。

研究室 PICKUP

池本有助 研究室

自律性を備えたロボットの開発ほか



池本研究室では、「機械工学の観点を活かした新たなものづくり」をテーマにロボット製作などを進めています。例えば開発中の四足歩行ロボットは、人工知能により各種の運動の特徴を割り出し、自律的に経験していかない動きができるようになることを目指しています。また、生物観察を通して得た情報を機械制御に活用できないか考えたり、3D CADや3Dプリンタを活用して、全て自分たちの手づくりを目指すなど、ユニークでクリエイティブな研究室です。

研究室 PICKUP

中島公平 研究室

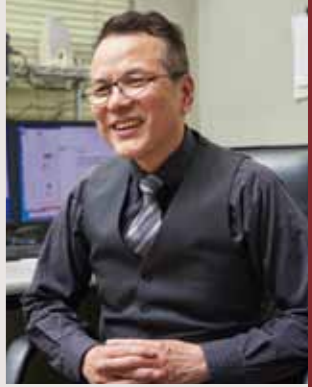
次代のピークルエンジンを考える



ピークルエンジンをテーマとする中島研究室では、内燃エンジンの摩擦低減や冷却向上の研究のほか、燃料電池の発電向上の研究、省燃費競技車両の開発を行っています。電動化がトレンドとなっていますが、内燃エンジンはプラグインハイブリッド車では動力源として、電気自動車ではレンジエクステンダとして、今後も重要な役割を担っていきます。よつて、エンジンの摩擦低減などは引き続き重要な研究テーマです。また、これからの低炭素社会では燃料電池の研究もさらに重要度が増していきます。

研究室 PICKUP

メカトロニクス工学科



メカトロニクスの思考で
新たな機械を
創造する人材を養成。

学科長 楊 劍鳴

メカトロニクスは日本の産業を支えています。本科では電気・機械・制御・コンピュータなどの各分野と連携した教育を展開し、新しい国際競争を生き抜くべく、新しい発想を持つ人材の養成に努めています。学生たちは国際的なロボットコンテストへの参加

など意欲的に学修・研究に取り組んでおり、海外からの留学生受け入れなど、日常的にグローバルな視点を意識できる環境です。大学院など研究体制も充実し、俯瞰的にシステムを捉えられる「メカトロニクスの思考」を育成していきます。

社会基盤デザイン工学科



充実した研究環境のもと
国際感覚を備えた
「シビルエンジニア」に成長。

学科長 葛 漢彬

社会基盤デザイン工学科では、安心・安全で快適な社会基盤の整備を追求しています。海外での実績を持つ国際派の教員を多数配し、卒業生たちは建設会社や自治体など各分野の最前線で活躍しています。学生たちも土木学会での受賞ほか学内外で高

い評価を受けており、大学院の開設以降、研究体制はより充実しています。国際感覚を養う「グローバルインターナシッブ」を通じて企業、海外の大学などからも刺激を受け、「コミュニケーション能力とグローバルな視点を備えた人材へと成長します。

環境創造学科



地球的規模の
資源・エネルギー問題の
解決に向き合う。

学科長 道正 泰弘

今や環境を取りまく多様な課題があり、世界的に環境問題への関心が高まっています。環境創造学科では、エネルギー・資源循環分野をより充実させるべく、2年後のカリキュラム変更を予定しており、着々と準備を進めています。すでにこの分野の教

員を配するなど、研究の質の向上を継続的に続けていきます。技術士(環境部門)など各種資格取得や、専門性を高める大学院進学への支援も充実させており、持続可能な社会に貢献し、広く社会で求められる人材の育成に努めて参ります。

建築学科



工学から人文・芸術分野まで
幅広い視野と
柔軟な思考を身につける。

学科長 岡田 恭明

建築物は、人の生命を守るとともに、地域の風景を創り、文化を育む役割をも果たします。また、多くは数10年にわたって在り続けます。そのため本科では、エンジニアリングからアートまで建築に関わる幅広い領域について基礎知識を修得すると同

時に、先々のライフスタイルをふまえたプランニング力も身につけることを目指します。企業や自治体との連携によるプロジェクトを通じて、「コミュニケーション力や多様な価値観も育んでおり、国内はもとより海外で活躍する卒業生もいます。

研究室 PICKUP



松田和浩 研究室

広く社会に活かせる耐震研究

木造建物の耐震の研究を主としてしている松田研究室ですが、最近では東日本大震災で被害の多かった天井など非構造部材の研究もしています。現在は埼玉県の音楽大ホール天井の耐震改修プロジェクトが進行中で、学生たちは実際のものづくりに関わることにやりがいを感じつつ、学外の人も接することで社会人基礎力も身につけています。今年度は中国との共同研究で世界的大規模実験も予定しており、広く海外にも目を向けながら、社会で活かせる研究に取り組んでいます。

研究室 PICKUP



西山桂 研究室

光エネルギー変換と新規エネルギー創成

目に見えない紫外線を可視光線や電気に変える取り組みなど、光エネルギー変換を進める研究室です。特に、レアアースとも呼ばれる希土類の「発光する」特性に着目し、環境にやさしいナノ粒子なども組み合わせ、光から新しいエネルギーを生み出すようとしています。「学生が持ついる興味や関心を最大限に引き出したい」と語る西山桂教授のもと、既存の研究の焼き直しではなく、世界で初めて、さらには世界でいちばんの研究を目指して、学生たちは実験と向き合っています。

研究室 PICKUP

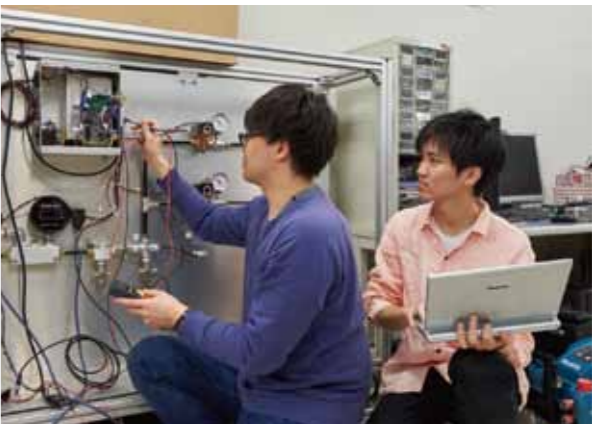
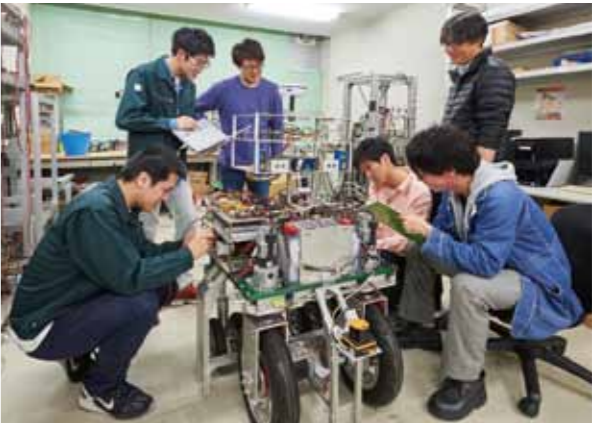


藤井幸泰 研究室

防災に活かす風化や崩壊の研究

藤井幸泰教授は岩場や斜面、国内外の構造物や遺跡などの風化や崩壊についての研究を専門としています。研究室では、地質学と土木工学に立脚して、社会インフラづくりに対して防災面で活かせる研究を進める予定です。例えば山崩れによる被害を最小限に抑えるためには、それがなぜ起こるか、どう防ぐかを考え、対策を立てる必要があります。現物に触れながら知識を修得し、建設コンサルタントや地質調査ほか建設業界で活躍できる人材を育成します。

研究室 PICKUP



芦澤怜史 研究室

社会に役立つロボットづくり

芦澤研究室では、省エネ・高効率エネルギーシステム研究や、自律・半自律ロボットの設計・製作を行っています。センサを組み合わせた低コスト・高性能の搬送用ロボットや、真空吸着により壁面を昇るロボットなど、工業や農業、災害現場等での活躍が期待され、企業との協同研究も進んでいます。「研究を通して、もの考え方の基礎を身につけてほしい」という芦澤怜史教授のもと、学生たちは全て自分たちで考え、組み立て、動作実験や改良を進めています。

昔の人が知恵を絞った動力源

からくり師が使用したと解っているのは、“くじらのヒゲ”で作ったゼンマイだといわれています。くじらのヒゲは、ヒゲクジラという種類の上あごにある器官で、皮膚が爪のように硬化し、先端が細長く分かれたものを指します。ヒゲクジラはこの器官を使ってオキアミなどの餌をこし取って食べるようです。

くじらのヒゲは弾性に富んでおり、熱を加えれば成形でき、冷やせばその形を保つ性質があります。ヒゲの大きなものは人の背丈以上もあり、細い板状にカットして表面を一定の厚みに削れば、ゼンマイばねとして使用できました。ただし、一度使用すると弾性が回復するまでにある程度の時間を要し、現在の金属性のゼンマイばねと比較すると性能は劣るものでした。

ヒゲクジラのヒゲ

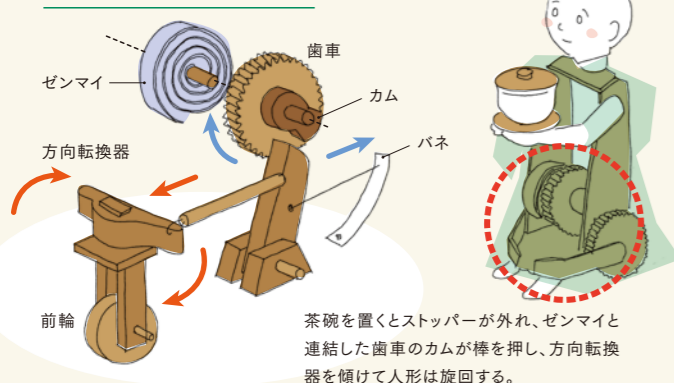


ヒゲは大きなものになると人の背丈より大きい（写真：東京海洋大学水産資料館）

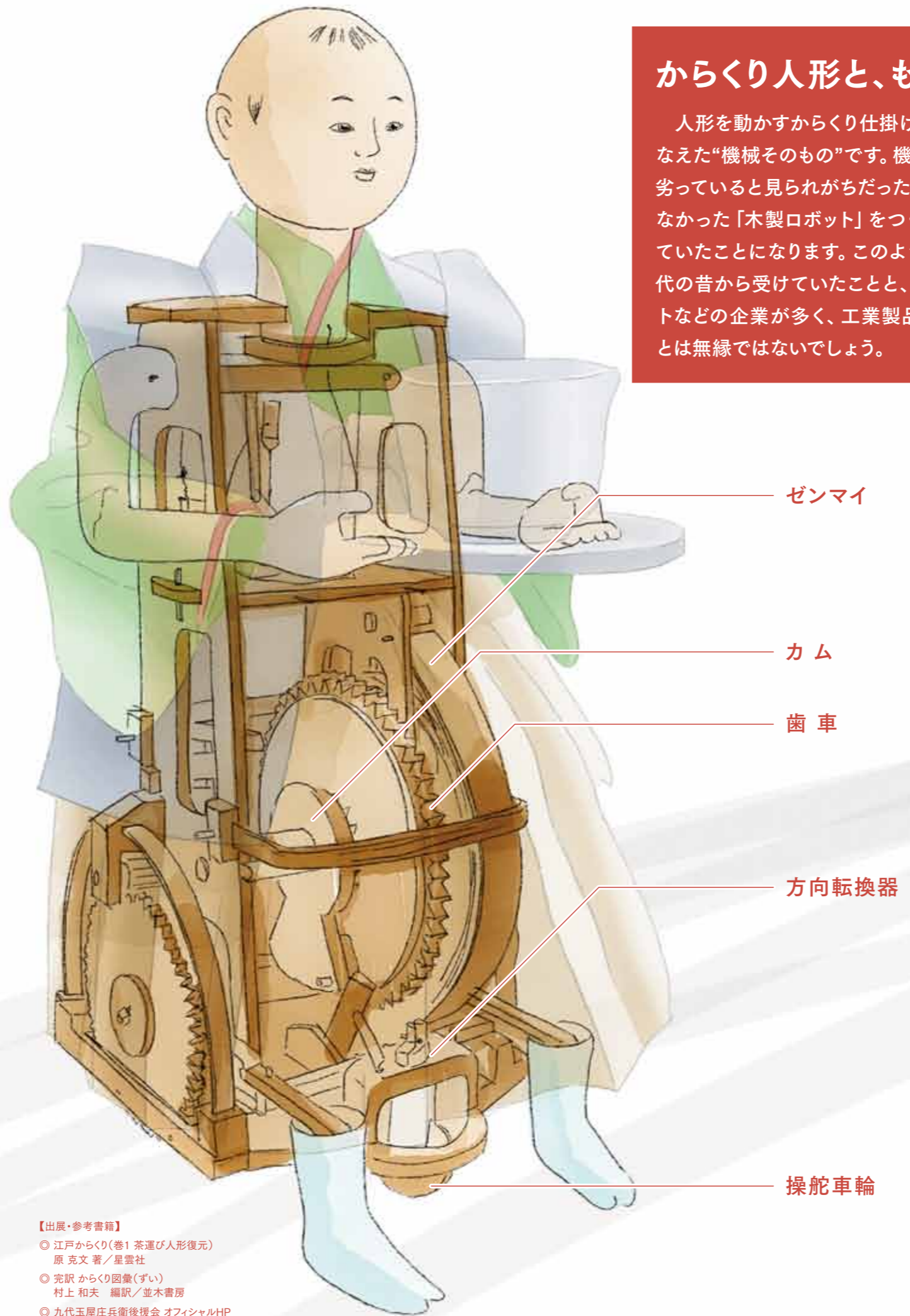
茶運び人形をはじめとする江戸期のからくり人形には、上記のような“くじらのヒゲ”を利用したゼンマイが動力として利用されました。また、歯車をゆっくりと回転させる调速機構には、和時計の仕組みが取り入れられています。

茶運び人形のいちばんの仕掛けは、客が茶碗を持ち上げると停止し、再び茶碗を置くと旋回して戻っていくところにあります。内部の構造を見てみると、茶運び人形はゼンマイ仕掛けの三輪車ようになっており、ゼンマイの動力は歯車から動輪に伝えられて走行し、茶碗を持ち上げるとストッパーがかかって停止。茶碗を置くとストッパーが解除されるとともに、歯車と連結したカムが前輪の方向転換器を押しまわして旋回するという仕組みです。

茶運び人形の旋回のからくり



茶碗を置くとストッパーが外れ、ゼンマイと連結した歯車のカムが棒を押し、方向転換器を傾けて人形は旋回する。



からくり人形と、ものづくり文化

人形を動かすからくり仕掛けは、現代の機械工学にも通じる原理をそなえた“機械そのもの”です。機械技術の面では、西欧諸国に比べかなり劣っていると見られがちだった江戸時代の日本に、実は西欧にも存在しなかった「木製ロボット」をつくる精密機械技術が完成され実用化されていたこととなります。このような木製のロボット文化の影響を江戸時代の昔から受けていたことと、現在の中部地方に自動車、産業用ロボットなどの企業が多く、工業製品の出荷高が常にトップクラスにあることとは無縁ではないでしょう。

からくりから発展?! 中部地方の産業基盤

江戸時代に“木”で精密な機械人形をつくり上げたこの技術力が明治以降、西洋の“鉄”を用いた新しい機械技術を導入するにあたって威力を発揮しました。日本の工業化推進に大きな役割を果たしたことは明らかです。からくりを支えたこの技術は、鎖国から開放された明治維新以降に、ヨーロッパから入ってきた新しい機械技術の受け皿となり、この地方での時計産業や自動車産業の発展を促し、今日の産業基盤形成の礎になっているのでしょ。

愛知の文化・風土が、今の産業を支える

愛知の山車からくりは、京都で生れた人形製作技術と大阪で始まった大衆人形芝居、さらに名古屋で開花した和時計の技術との出会いから誕生しました。和時計製作と同様に一輛の山車をつくるには、縫師、彫師、大工、指物師など多くの専門性を持つ職人の技術が必要でした。広い裾野を持つ“分業体制”と、現在のトヨタ自動車の“カンバン方式”ともいえるシステムが既に存在していたともいわれています。



▲江戸時代に作られた日本独自の時計

【出展・参考書籍】

- ◎ 江戸からくり(巻1 茶運び人形復元) 原 克文 著/星雲社
- ◎ 完訳 からくり図彙(ずい) 村上 和夫 編訳/並木書房
- ◎ 九代玉屋庄兵衛後援会 オフィシャルHP

進学

名城大学大学院理工学研究科 応用化学専攻
丹羽悦子さん 応用化学科 卒業



研究テーマを進展させ、より高い能力を身につけたい。

応用化学科に入学した理由

高校時代に地球環境に関心を持ち、環境を考える上で化学的な視点も必要と考え、進学を決めました。

大学生活を振り返って

先生方に恵まれ、専門の分野についてより深く学ぶことができた4年間だったと思います。

大学院進学に至るまで

就職活動が本格化する3年生の3月、あらためて将来について考え、研究室の先生からのアドバイスをあつて「大学院でさらに成長してから社会に出よう」と決めました。

進路について親子の話し合いは？

当初は就職希望だったので、父に地元企業について聞いたりしていました。進学したいと相談すると、「充実させるよ」と言ってくれて、嬉しく思いました。

これから始まる大学院生活について

自動車用燃料電池の触媒について研究しつつ、論理的思考力やプレゼンテーション能力を高めます。

先輩へのアドバイス

自分と向き合ってください。周りに流されて就職するより、親の理解と自分の信念があれば進学をお勧めします。

就職

豊田合成株式会社
面田圭太さん 交通機械工学科 卒業



興味を持った歯車について学び、自動車業界へ。

交通機械工学科を選んだ理由

名城大学のオープンキャンパスで交通機械工学科の「歯車を触って体験しよう」という企画に参加したのがきっかけです。想像以上の歯車の種類と動きに心動かされました。

特に印象に残っている授業は？

歯車を組み合わせてエンジンの回転速度や回転力を変化させるギアボックスの製作です。

就職先企業を志望した理由

授業の内容もクルマに関することが多く、学んだ知識を活かせることが多かったからです。

採用に繋がったと思われる強みは？

品質管理についての授業に触発されて独自に勉強してQC検定3級を取得するなど、行動力が評価されたのではないかと考えています。

就職について親子の話し合いは？

親は「自分で調べて納得した会社にしなさい」と言ってくれました。自分を信頼し見守ってくれると、子どもとしては嬉しいですね。

これからの夢・目標について

自動車の内外装を手がけている会社なので、すべての人の印象に残るクルマづくりに貢献したいです。

理工学部 後援会の活動

より魅力的な後援会を目指して。



名城大学理工学部後援会 会長 寺西 正明

平成30年度会長に選出されました寺西でございます。後援会会員ご父母の代表として、微力ながら昨年度に引き続きがんばってまいりますので、よろしくご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

昨年度は新規事業として、3年生全員にTOEIC I P試験を実施し、多くの方が受験され、今年度以降も実施していきます。当会は時代の流れを踏まえながらも、伝統を重んじつつ、全国の大学における後援会の先頭を行くような活動を推進し、会員の皆さまや学生さんにご満足いただける活動を展開していきたいと思っております。

当会では専用の事務局も設置し、常勤の職員もおりますので、ご子弟に関する些細なご相談などでもぜひ後援会を利用していただきたいと思っております。

後援会では、1年生が入学されてすぐのフレッシュマンセミナーに始まり、卒業時には卒業パーティーの援助や卒業記念品の贈呈まで、後援会活動は入学から卒業まで幅広い支援を行っています。会員ご父母の皆さまに對しましては、地区懇談会・家庭教育支援セミナー・ご父母のための進路セミナーなどさまざまな行事もあります。ご参加いただければきっと皆さまと大学との距離も縮まることでしょう。

役員・委員とともに、「昨年度より今年度はより魅力的な後援会になった」と皆さまに実感いただけるような後援会にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

後援会の基本姿勢

- 1 学生への支援第一主義
あくまでも学生への支援を第一に考えております。そして次にご父母への還元、さらに理工学部の教育・研究への援助を基本としています。
- 2 ご父母と大学・学部とのパイプ役
大学や学部とは連絡を密にして、協調し、ご父母と大学・学部との間のパイプ役となります。また、さまざまな行事を通じて在学中のご子弟に対する不安を解消することを図っていきます。
- 3 ご父母の目線での活動
常に会員であるご父母の目線で、またご父母の要望に耳を傾け、活動に反映していくことを目指しています。
- 4 理工学部に関係する諸団体との連携強化
理工同窓会・技術士会等、諸団体と連携を密にして、後援会活動の多角化を図ることを目指しています。

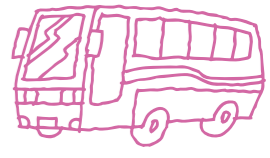
後援会の組織図

平成30年度 理工学部後援会 専門担当委員会 会長 寺西 正明

<p>企画担当委員会</p> <p>役割 後援会を運営するための予算編成と事業計画を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予算編成 ● 会則 ● 定期総会 ● 地区懇談会 ● フレッシュマンセミナー ● ご父母のための進路セミナー 	<p>委員長 逸見 英治 副委員長 森 久元</p> <p>委員 長谷川 清 鈴木 宏康 藤村 志郎 小田原 俊二 伊藤 一男 山下 隆宏 榊原 正己 津田 義憲 佐渡 直隆 廣畑 洋祐 坂根 安則 関島 憲一 柴田 眞佐夫 阿知波 孝文 鈴木 規夫 中根 正喜 丹羽 広志 立山 貴也 内田 智洋 國枝 直人 三浦 純 堀野 隆弘 尾上 賢一 山田 高裕</p>
<p>編集担当委員会</p> <p>役割 後援会自主活動の報告並びに学部の状況を会員に周知させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理工学部紹介DVDの制作について ● 後援会会報誌「Scope」の発行について ● 後援会ホームページの制作について ● 個人情報保護について 	<p>委員長 河田 直英 副委員長 柏田 淳一</p> <p>委員 国保 久一 成田 吉男 岡島 淳二 錦木 幸男 高村 和治 三輪 恭久 鈴木 成一郎 有本 昌伸 滝澤 昇一 和田 文三 加藤 稔 森 義則 平山 善健 中野 稔久 坂本 庄司 幸村 信樹 三好 強 瀬野 宏 大橋 健二 佐藤 一成 佐藤 智洋 伊藤 毅 福井 秀樹 及部 剛</p>
<p>福利厚生担当委員会</p> <p>役割 後援会として学生に援助し得る福利厚生事業を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生育英救済制度実施 ● 災害見舞金制度実施 ● 学生奨励制度実施 ● 家庭教育支援制度実施 ● 学生課外活動援助 	<p>委員長 宮之上 昭彦 副委員長 近藤 博之</p> <p>委員 小島 久直 佐野 錦司 加藤 広和 金住 健一 市川 幸和 永富 和幸 伊藤 弘人 太田 啓文 渡邊 良夫 水谷 吉文 船戸 繁 川嶋 洋介 大橋 啓之 菊田 光 石川 武彦 西島 耕治 辻 敏行 大川 智 大野 秀朗 早川 貴理 松野 忠良 國枝 郁照 川邊 晴彦</p>

フレッシュマンセミナー

これから始まる大学生活を 充実させていくために



未知なる期待と不安でいっぱいの、今始まったばかりの大学生活。
学内で基本となる心構えやマナーを学び、バスで三河湾のホテルに移動します。
同学年の仲間や教員、先輩学生と1泊2日を共にすることで確かな絆が生まれます。

上級生の声
良き友人関係も
理工学部生としての姿勢も
ここから本当に始まった。



大学院 理工学研究科
材料機能工学専攻 修士課程1年生
櫻木勇介さん

あらためて振り返ると、「フレッシュマンセミナー」で学科の友人ができて、その友人を通じて学科のつながりが生まれて、その後の実験などで互いに助け合うことができました。今も身近な友は、この時にできた仲間です。
また、グループワークの中で発想法やアイデアの整理の仕方を学べたことも、研究活動に役立っています。先輩として、新入生がより良い時間を過ごせるよう一杯サポートしていきます。

- ① 一つのテーマについて各グループで議論し、自分の考えを伝えるとともに、相手の意見を受け入れる協調性を養います。
- ② 共同作業を通じて意欲をもって主体的に勉学をするきっかけをつくります。
- ③ 信頼できる友人関係を形成することで、大学生活への不安を払拭させます。

新入生対象 セミナー開催目的

セミナー I
充実した学生生活のために
「大学生としてのマナー」
企業等でも研修指導をしているプロのトレーナーを招いて、人に与える印象の重要性や電話・メールのマナー、時間管理の必要性など、大学生活をより良いものにするためのポイントを学びました。



セミナー II
コミュニケーションを図る
「コンセンサスゲーム」
与えられた課題について、まず自分で考えた後、チームの合意コンセンサスを導き出すのが「コンセンサスゲーム」です。話し合いを通じて初対面のチームメンバーとの一体感も生まれました。



セミナー III IV
話す、聞く、まとめる、発表する
「グループディスカッション」
チームごとにテーマを決めて行うディスカッションでは、自ら意見を発信しつつ人の意見をきちんと聞き、それらを集約して発表するという、今後の研究活動の基本となるスタイルを体験しました。



マナーやコミュニケーション
についてのレクチャー
相手に与える第一印象は、自分で意識することによって大きく変わってくるのだと、講師の先生のお話で知りました。相手のお話に関心をもち、忘れないようにしたいです。



バスで宿泊地である
三河湾のホテルに移動
1泊2日のセミナーがあることを心待ちにしていました。バスの中ではすぐに打ち解けトランプをしたりお菓子を交換したりして楽しい時間でした。



新入生たちに聞いた フレッシュな感想を ご紹介します。



先輩からのアドバイスも
参考に、グループワーク
自分とは全く違うものが見方や考え方に接することができて新鮮な気持ちです。
行き詰まりかけたときに先輩のアドバイスで、話し合いの方向性が見えてきました。



夕食時間も、初めての人と
打ち解けて話すチャンス
美味しい料理がたくさんあってテンションが上がります。
夕食時間に、サポートしてくださっている先輩たちに、これからの授業のことや就職活動についてお聞きできました。



それぞれの部屋で
リラックスして本音トーク
海が見渡せる広いお部屋だったので嬉しいです。
出身高校もバラバラで、入学してから今までほとんど話したことのない人とも、お互いを知るきっかけになりました。





1 大学施設見学ツアー 希望者のみ
受付を済ませた後、学科別のグループに分かれて、最新の研究機能を備えた『研究実験棟II』や学生が所属する学科の実験施設等を見学し、研究内容についての説明を受けます。



2 『名城食堂』学食体験 希望者のみ
ふだん学生たちが利用している学食で、学生たちと同じようなスタイルで料理をお召し上がりいただけます。
(ただし、メニューについては当セミナー限定の内容となります。)



3 全体懇談
後援会長、理工学部長、理工同窓会長のあいさつに続いて、理工学部における最近の就職状況や大学院進学についてお話しします。

【就職と進学について】
理工系分野で高度専門職としての活躍を目指すのなら、大学院を経て就職するのが望ましいとの声もあります。学部卒で就職することのメリット・デメリットや大学院進学の意義、進学にあたっての各種サポート等についてご紹介します。



4 パネルディスカッション
キャリアセンターの担当者が大学としての就職活動へのサポート体制の数々をご紹介します。続いて、昨今の就職状況に詳しい方をゲストに迎えて話を聞きます。その後、ゲストと学生たちをパネラーとして、「就職活動の本音」を語り合うディスカッションを行います。
昨年は、理工学部を卒業して企業で活躍中の3名をゲストに迎え、在校生3名との「この場だからこそ話せること」を交えたリアルな意見交換を繰り広げました。



5 学科別懇談
学科別の会場に移動した後、学科長あいさつに続いて、学科の教育方針や就職状況、大学院進学についての説明を行います。ご父母からの疑問・質問にお答えする時間もご用意しています。



ご父母のための進路セミナー

就職・大学院進学の現状を 理解する絶好の機会

2

理工学部生の就職事情や進学についての解説、就職活動を経験した学生たちの生の声が聞けるディスカッションなど充実したセミナーで、毎年ご参加になるご父母も多数います。昨年度の様子に沿って主な内容をご紹介します。

希望者向け特別企画
※無料・要事前申込
① 大学施設見学ツアー
② 『名城食堂』学食体験
ご来場特典
冊子『ご父母と一緒に考える
理工学部生の進路』進呈
ご子弟を取りまく進路の現状を
分かりやすくまとめた一冊です。

- 開催の目的
就職活動の現状を知る
大学院で学ぶ意義を考える
学びの施設を見学する
- 参加対象者
理工学部
全学年のご父母
- 日時
6月30日(土)
11時~16時50分
- 会場
名城大学
太白キャンパス
共通講義棟北1階
名城ホール(N101)
- 大学施設見学ツアー・学食体験をご希望でない場合は、13時からご参加ください。

就職活動の現状を知る

インターネットもES(エントリーシート)もなかった親世代の就職活動当時と現代では、就職をとりまく環境も学生たちの動きも様変わりしています。親として、子ども世代の就職に不安を覚えるのも無理はありません。そこで当セミナーでは、就職活動全般のタイムスケジュールと大学の就職サポート体制、学生たちの率直な思いなどをお伝えしていきます。

昨年は、企業に勤める卒業生と学生たちをパネラーとして、「就職活動の本音」を語り合うディスカッションを行い、活発な意見が交わされ、ご父母に大変好評でした。



panel discussion



大学院で学ぶ意義を考える

一般には、大学卒業後は就職して社会に出るものと思われがちです。しかし、大学院へ進学するという道もあります。特に理工系においては、企業側が大学院卒を重用する傾向にあることから、就職を見据えた上で大学院に進学する学生が多く存在します。名城大学は大学院理工学研究科を備え、多彩な分野で最先端の研究を展開しています。名城大学大学院では学業成績および人物優秀な学生に対して奨学制度を設けており、セミナー当日は、大学院進学についての説明も行います。

学びの施設を見学する

当日は、最新の研究機能を備えた地上4階地下1階建ての『研究実験棟Ⅱ』をはじめとする各種研究施設の見学ツアーを学科ごとに実施します。研究内容についての説明を聞いたり、教員の指導のもとで院生のサポートを受けて実験に取り組む学部生たちの様子を目にする機会もあります。理工学部生の日常に接することが出来ます。



ご父母の声

企業や学生の
本音が聞けて
大変参考になった



建築学科 2年生の父母

パネルディスカッションでは、「就職活動中の学生が企業に聞きたいこと」「親からの企業への質問」「企業側から社員として求める人物像とは」など、具体的に率直な受け答えが聞けておもしろく、また大変勉強になりました。大学で娘が毎日どんなものを食べているのか気になっていましたが学食体験で確認することができ、量も多く大変美味しかったので安心しました。秋に開催される地区懇談会と次回の進路セミナーにも参加したいと考えています。

ワンランク上の
就職を目指して
大学院進学も視野に



電気電子工学科 1年生の父母

理工系では、女子学生が少ないので学内でどんな活動をしているのか心配でしたが、充実した学びの環境を見られて安堵しました。また、就職に関しては女子を積極的に採用していると聞き、安心しました。大学院進学も視野に入れてコミュニケーション能力を身につける手助けをしたり、インターシップを勧めたり、親として今後の方向性が明確になりました。これからは娘と情報共有ができるので良いセミナーに参加したと思っています。

設備の充実ぶりは
思っていた以上に
感心した



交通機械工学科 1年生の父母

この会報誌を見て、どんなところで学んでいるのか知りたくなり、参加しました。机上だけではなく充実した設備のもと実験を楽しみながら学んでいるとわかり、良かったです。子どもは小さな頃から鈴鹿の自動車レースを見て育ち、将来は車のデザインがしたいようです。今回、大学院進学や就職の現状を知って、本人が希望するなら大学院へ行かせたいと思いました。クラブは「名城大学自動車技術研究会」に所属しているので、その活動の様子も見えたかったですね。

参加お申込方法 申込はがき、またはホームページよりお申込ください。

● **申込はがき** / 本誌に同封されているパンフレット「ご父母のための進路セミナー」の受講申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。

● **理工学部後援会ホームページ** <http://www.meijo-rikokoen.jp/> 「ご父母のための進路セミナー」の受講参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

※開催会場へのアクセスなど、詳しくは後援会ホームページまたはパンフレットをご覧ください。



名古屋会場 スケジュール



④ 学科別懇談 14:00
 学科別に分かれて、教務関係や就職、大学院進学などについての説明を受けます。



① 受付開始 12:30~
 受付で資料などを受け取って全体懇談会場へ向かいます。



⑤ 個別懇談 待合懇談 14:30
 別室にて個別懇談を行います。個別懇談の順番が来るまで学科別懇談会場では、先生がご父母の質問に丁寧に答えてくれます。



② 理工学部紹介 DVD上映 13:00
 映像を通して、各学科の研究内容や学内施設、先生方のご活躍ぶりや学生たちの学部での日常の様子を知ることができます。



⑥ 懇親パーティー 16:40~17:50
 和やかな雰囲気の中で、先生とご父母が飲食をともにしながら自由に話の花を咲かせます。



③ 全体懇談 13:40
 後援会長のあいさつに続いて、学部長から理工学部の研究活動の現状や施設の充実についてほか、名城大学並びに理工学部全体の説明があります。

福岡・浜松・津・松本・岡山・富山・大垣会場 スケジュール



- ① 受付開始 9:30~
- ② 理工学部紹介DVD上映 10:00
- ③ 全体懇談 10:40
- ④ 個別懇談・待合懇談 11:20
- ⑤ 昼食会 13:00~14:00



全体の流れおよび内容は、各地区とも名古屋会場と共通です。理工学部とご子弟の現状についてご父母の皆さまからお気軽にご質問・ご相談いただけます。名古屋会場より参加者数が少ない分、和やかな雰囲気です。

地区懇談会

先生方とじっくり話せる 貴重な機会



地区懇談会は、学部の先生方の協力のもとに実施しています。名古屋をはじめ全国各地で開催しますので、ぜひご参加ください。ご父母の皆さまと先生方が直接、交流を深める貴重な機会となります。



● 参加対象者
理工学部
全学年のご父母

● 地区懇談会とは
 教務・就職・進学について各担当の先生より詳しくご説明します。
 ご子弟の成績や進路、学生生活についてご相談いただき、きめ細やかなご説明と適切なアドバイスでお応えします。
 大学の状況や進路などについて疑問や心配事を先生や他のご父母の皆さまと共に問題解決していきます。

地区懇談会にご参加いただいた方々の声

個別懇談や懇親パーティーは、先生方にとってもご父母の皆さまと直にお話をする良い機会となっています。

来年も参加したいです。子どもの成績表を見ながら先生と直にお話することができて良かったです。学科別懇談では、就職活動についての説明も参考になりました。また参加する予定です。



情報工学科1年生の父母

具体的な情報を得られた。成績表からだけでは読み取れない子どもの成績の実際を知ることができた上、学部全体や他の学科、卒業生の情報も得ることができ、参加して良かったと感じました。



機械工学科1年生の父母

個別懇談で子どもの成績等の不安を解消した後、こうした和やかなひとときが持てるのは、ありがたいです。大学の先生を身近に感じられて嬉しいです。

個々の成績に関してのご相談ほか、就職やインターシップなどの情報もお伝えできる機会なので、ぜひ、いろいろお尋ねいただければと思います。

パ ー ティー

理工学部といえども最近ではTOEIC®など英語教育にも力を入れています。次代の技術者としての活躍も視野に、学生の将来について話を深めたいですね。

機械工学科3年生の父母

さまざまな情報を共有。毎年参加してきました。先生とお話することで、不安の解消につながるし、他の父母の方々の話も参考になります。多角的なサポートがある大学に改めて感謝します。



数学科4年生の母

充実したサポートを実感。前年に続いていた参加です。子どもが3年生になり、就職活動が本格化してくるので、特に進路についての話は参考になります。充実したサポートがあつて、ありがたいです。



応用化学科3年生の父

会場と日程のご案内 名古屋会場 13:00より開催 地方会場 10:00より開催

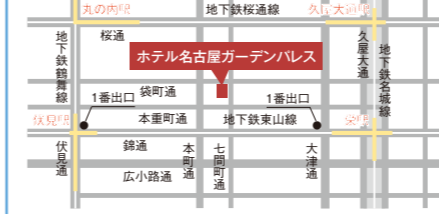
10月14日 13:00

数学科・情報工学科
電気電子工学科・材料機能工学科

10月21日 13:00

応用化学科・機械工学科
交通機械工学科・メカトロニクス工学科

ホテル名古屋ガーデンパレス
名古屋市中区錦3丁目11-13 Tel.052-957-1022
「栄駅」1番出口より徒歩約5分
「伏見駅」1番出口より徒歩約8分



10月20日 13:00

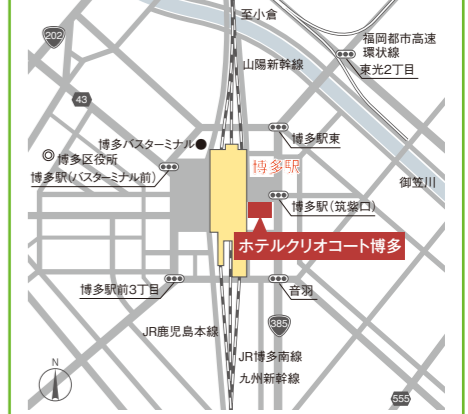
社会基盤デザイン工学科
環境創造学科
建築学科

名古屋栄東急REIホテル
名古屋市中区栄3丁目1-8
Tel.052-251-0109
「栄駅」8番出口より徒歩約8分
「伏見駅」4番出口より徒歩約8分



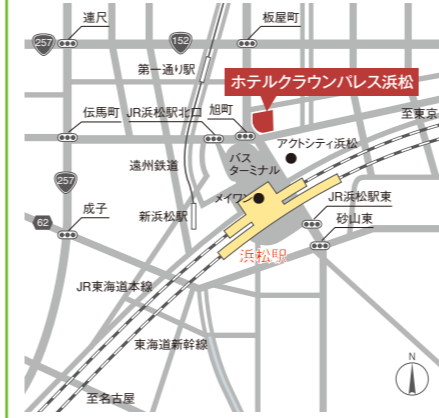
福岡会場 9月22日 10:00

ホテルクリオコート博多
福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-3
Tel.092-472-1111



浜松会場 9月24日 10:00

ホテルクラウンパレス浜松
静岡県浜松市中区板屋町110-17
Tel.053-452-5111



津会場 9月29日 10:00

ホテルグリーンパーク津
三重県津市羽所町700
Tel.059-213-2111



松本会場 9月30日 10:00

アルピコプラザホテル
長野県松本市深志1-3-21
Tel.0263-36-5055



岡山会場 10月6日 10:00

岡山コンベンションセンター
岡山県岡山市北区駅元町14-1
Tel.086-214-1000



富山会場 10月7日 10:00

パレプラン高志会館
富山県富山市千歳町1-3-1
Tel.076-441-2255 (0120-542-489)



大垣会場 10月13日 10:00

クインテッサホテル大垣
岐阜県大垣市宮町1-13
Tel.0584-84-3730



参加お申込方法 申込はがき、またはホームページよりお申込ください。

- 申込はがき
8月初旬に郵送される「案内パンフレット」の申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 理工学部後援会ホームページ <http://www.meijo-rikokoen.jp>
参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。(8月初旬より受付)



家庭教育支援セミナー

多感な青年期の心の理解を深める



ご父母の皆さまに、家庭教育の重要性について再確認していただくとともに、ご子弟の悩みごとに対応する能力を身につけていただくことを目的として、各地での講演会や、学内での心理学講座を実施します。ぜひともご活用ください。

家庭教育支援セミナー 講演会

優秀な講師を全国各地に派遣し、気軽な講演会、フリーディスカッションなどを通じて家庭教育の重要性を認識していただき、ご父母の皆さまが身近な相談役としてご子弟の悩みなどに対応する能力を身につけていただくことを目的としています。このセミナーは全国の大学に先駆けて名城大学が開講し、文部科学省、地方自治体、マスコミなども大変注目しており、毎年多くのご父母の方が参加しています。講演会は何回でも受講できますので、よりいっそう内容が深まり、参考にしていただけます。

家庭に活かす 心理学講座

当講座は心理学を中心とした内容をご父母の皆さまにご提供し、それを家庭に活かしていただき、より一層の教育力向上を目指す目的で開設されました。心理学については初学者にもわかりやすく、初歩から解説します。心理学等の学問的内容の理解をし、家庭教育に活用していただくことは重要ですが、さらにこの講座を受講したことにより、ご父母世代の「自分探し」、また子育てが終わってからの、これから続いていく質の高い人生への手掛かりとしていただけます。

名城大学天白キャンパス

11号館 504教室・第一会議室など

平成30年7月～平成30年3月 全20回

●担当講師

鈴木亮子 先生
椋山女学園大学 人間関係学部 心理学科 准教授

吉住隆弘 先生
中部大学 人文学部 心理学科 准教授

吉田琢哉 先生
岐阜聖徳学園大学 教育学部 准教授

川島一晃 先生
皇學館大学 文学部 コミュニケーション学科 准教授

信太寿理 先生
中京学院大学 短期大学部 保育科 専任講師

清水麻莉子 先生
中部大学 非常勤講師

吉本直美 先生
名城大学 非常勤講師

●受講時間 各回13:00～16:15(休憩15分)

●定員 50名(一度当講座を受講されたご父母はお申込できません)

●受講料 無料(別途教材費がかかる場合があります)



名古屋会場 7月22日(日)

名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
西館2階 レセプションホール

津会場 8月4日(土)

三重県教育文化会館 第3会議室



講演
テーマ 青年期のこころの発達

— 自分らしい生き方の探求



平石賢二 先生
名城大学大学院
教育発達科学研究科
教授
博士/教育心理学
専門/生涯発達心理学

浜松会場 7月28日(土)

サーラシティ浜松2階 終

名古屋会場 8月5日(日)

名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
西館2階 レセプションホール



講演
テーマ 他人を説得する



吉田俊和 先生
岐阜聖徳学園大学
教育学部 教授
名城大学 名誉教授
博士/教育心理学
専門/社会心理学

名古屋会場 7月29日(日)

名城大学 天白キャンパス
11号館 504 教室



講演
テーマ 発達障害の知覚認知発達不全の理解

— 早期発達支援のために



和氣洋美 先生
神奈川大学
名誉教授
博士/医学
専門/知覚認知心理学
高齢者障害者福祉心理学

●講演 13:00～14:20

●質疑応答・フリーディスカッション 14:30～15:10

●受講料 無料



参加お申込方法

申込はがき、またはホームページよりお申込ください。

- 申込はがき/本誌に同封されている各パンフレット、「家庭教育支援セミナー 講演会」または「家庭に活かす心理学講座」の受講申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 理工学部後援会ホームページ <http://www.meijo-rikoko.jp/>「家庭教育支援セミナー 講演会」または「家庭に活かす心理学講座」の各受講参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。 ※各開催会場やアクセスなど、詳しくは後援会ホームページまたは各パンフレットをご覧ください。



学生たちの健闘と成果を
こころより祝福



学術・スポーツ・文化の各分野において、めざましい活躍をしたと認められる理工学部在籍の学生たちを後援会が表彰する学生奨励制度。平成29年度は53名・4団体が選ばれ、平成30年2月28日に表彰式が行われました。

学術関係

数学科	3年 村上 遼 3年 佐藤 雄飛	3年 大西 友博 3年 大見謝 要
情報工学科	3年 松岡 穂 3年 伊藤 美紀	3年 曾布川 あかり 3年 高木 周平
電気電子工学科	3年 本多 慶伍 3年 柴垣 敬太	3年 星野 知音 3年 梅村 和輝
材料機能工学科	3年 砂古口 藍子 3年 小田原 麻人	3年 田中 隼也 3年 小田 薫
応用化学科	3年 前田 陽子 3年 岡島 里奈	3年 竹田 綾菜 3年 瀧下 智美
機械工学科	3年 島方 大 3年 鈴木 慎平	3年 近藤 香織 3年 天野 竜太
交通機械工学科	3年 石塚 洋祐 3年 塚本 涼	3年 酒井 達矢 3年 下條 朋輝
メカトロニクス工学科	3年 近藤 佑樹 3年 鈴木 康平	3年 水谷 友美 3年 高山 雅貴
社会基盤デザイン工学科	3年 朝岡 巧 3年 小島 諒	3年 飯田 潤哉 3年 鈴木 涼
環境創造学科	3年 福田 春菜 3年 村瀬 綾香	3年 山本 園実 3年 田中 秀和
建築学科	3年 増田 顕 3年 岩田 実希	3年 市川 和樹 3年 加藤 万騎

- **体育会 ハンドボール部** 【表彰者選出基準 1】
平成29年度 東海学生ハンドボール春季リーグ 優勝
- **スケート部** 【表彰者選出基準 2】
材料機能工学科3年 砂古口 藍子
アイスダンス・マスターズ 第10回 上野芝カップ Bクラス 優勝
- **体育会 居合道部** 【表彰者選出基準 2】
第32回 全日本学生古武道連盟大会 団体優秀賞
- **体育会 パーベルトレーニング部** 【表彰者選出基準 2】
電気電子工学科3年 松島 丈
第44回 全日本学生パワーリフティング選手権大会 男子53kg級 3位
- **体育会 ラクロス部** 【表彰者選出基準 4】
電気電子工学科3年 石井 慶
主将として、部の発展に著しく貢献。22歳以下日本代表メンバーに選出され、第8回 APLUアジア・パシフィック選手権大会 優勝
- **体育会 居合道部** 【表彰者選出基準 4】
建築学科4年 原田 京
主将として、部の発展に著しく貢献。また全国大会を主催する等功績あり

文化関係

- **文化会 将棋部** 【表彰者選出基準 1】
平成29年度 中部春季団体戦 優勝
- **理工学部 エコノパワークラブ** 【表彰者選出基準 1】
本田宗一郎杯Honda エコマイレージチャレンジ2017 第37回全国大会 グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス) 優勝
- **理工学部 ロボット倶楽部** 【表彰者選出基準 2】
メカトロニクス工学科1年 湊谷 亮太
26th International Micro Robot Maze Contest 2017 2nd Place Winner 受賞

その他

- **建築学科4年 藤城 太一** 【表彰者選出基準 2】
第34回 JIA東海支部設計競技「21世紀の戦後住宅」 金賞
- **環境創造学科4年 前田 真里** 【表彰者選出基準 2】
第34回 JIA東海支部設計競技「21世紀の戦後住宅」 金賞

スポーツ関係

- **体育会 洋弓部** 【表彰者選出基準 1】
機械工学科4年 井藤 司
2017年度 東海学生アーチェリーフィールド選手権大会 男子リカーブ 優勝
- **体育会 ヨット部** 【表彰者選出基準 1】
建築学科2年 高柳 直角
2017年度 中部学生ヨットオープン スナイブ級 優勝

名城大学理工学部後援会 学生奨励制度表彰規定

- 1 目的 この制度は、名城大学理工学部の学生で、人物・学業共に、優れた者あるいはスポーツ並びに文化活動において、大学の名声をとくに広めた者に対し、その功績をたたえとともに、本人をはじめ他の学生の今後の励みになることを念願して設立する。
- 2 適用範囲 名城大学理工学部在籍する学生。
- 3 審査方法及び機関 理工学部長の推薦により、理工学部後援会福利厚生委員会において審議決定する。
- 4 審議時期 適時
- 5 奨励方法 表彰状並びに副賞(記念品)とする。
- 6 ① 表彰者選出基準

区分	資格	基準	年間引当数
学術関係	個人	3・4学年に在籍する者のうち、人物・学業共に優秀な学生で各学科ごとに推薦された者。	1学科4名以内
スポーツ関係	個人又は団体	1 名城大学体育運動部に所属し、東海大学選手権大会又はリーグ戦等に於いて優勝したチーム。又は個人。若干名 2 全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。 3 前1・2号優勝者以外で個人賞として特別に表彰された者。 4 体育会運動部主将として著しく部の発展に貢献した者。但し在学中一回限りとする。	
文化関係	個人又は団体	1 名城大学文化クラブに所属し、東海又は中部大会以上の競技会に於いて優勝した個人又は団体。若干名 2 前号以外で、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。	

- ② 上記区分以外で、会長若しくは学部長の推薦により、後援会福利厚生委員会が妥当と認められた者に対しても、上記区分に該当する者と同様に表彰することができる。
- ③ 前項①②共、後援会費納入会員の子弟とする。
- 7 表彰方法 表彰者氏名及び該当事項を公示し、後援会委員会の席上において表彰する。
- 8 施行期日 昭和57年4月1日付をもって施行する。
附則 平成5年10月21日 一部改正 平成10年3月24日 一部改正 平成11年6月4日 一部改正 平成25年1月30日 一部改正 以上



機械工学科の女子は4人。お互いを高め合いながら励んできました。



身体の間々まで神経を行き渡らせて動作する居合道は奥が深いと思います。



将棋部では獨創性を拓き皆さまに感動されるようにさらになんばりたいです。

その他の活動紹介

学生とご父母を きめ細やかに幅広くサポート

理工学部後援会では、本誌面でご紹介してきた諸活動のほか、様々な支援・援助活動を行っています。

理工学部後援会 定期総会の開催

平成30年4月1日(日)の入学式後、天白キャンパス共通講義棟(南)102教室において、理工学部後援会定期総会が開催されました。議案はすべて承認され、平成30年度会長には寺西正明氏(機械工学科4年ご父母)が選出されました。



平成30年度 理工学部後援会 定期総会

理工学部後援会 ホームページの制作

後援会活動や大学についての最新の情報を迅速にご父母の皆さまに提供するため、ホームページを制作しております。「ご父母のための進路セミナー」、「地区懇談会」、「家庭教育支援セミナー」へのご参加のお申込みもホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。また、「フォトアルバム」には活動の様子を掲載していますので一度ご覧ください。



理工学部後援会 ホームページ

理工学部紹介DVDを制作

「名城大学理工学部紹介DVD」を制作し、毎年開催される地区懇談会などで上映しています。

会報誌「Scope」の発行

後援会活動の紹介、キャンパス、ご子弟の様子、ご父母の皆さまの声などを掲載しています。



年1回発行される会報誌「Scope」

難関資格取得者に記念品を贈呈

学生が取得した資格の中で、難関資格を取得した学生に対し記念品を贈呈します。



TOEIC® 受験援助

12月8日(土)に本学にて実施するTOEIC-IP試験について、理工学部3年生は全員無料で受験できます。



TOEIC® 試験会場

卒業記念品贈呈・卒業パーティー援助

会員ご子弟の卒業生全員に対し記念品を贈呈しています。

学会発表の援助

学会や研究会で発表する学生へ旅費や参加費を援助しています。

学生用図書の援助

学生の勉強の参考となる図書の購入を援助しています。



こんにちは。理工学部後援会事務局です。

理工学部後援会事務局は常勤職員3名が常駐しています。事務局は11号館2階(11-221室)にあります。後援会に対して、ご意見などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。また、ご子弟の学生生活等について、不安などありましたらご相談に応じます。家計が急変された方もご遠慮なくご相談ください。なお、ご相談内容については秘密厳守いたしますので、ご安心ください。

堀一貴 事務局長

人と話すこと、人と関わるのが大好きな明るい性格です。笑つことを第一に考え、落語や漫才などを聴いて、皆さまに笑ってもらえる語術を勉強しています。吹奏楽については、名城大学ではおそらく一番詳しいの自負もあります。aikoファンであり、ライブの時に派手に踊っている姿は普段からは想像できません。また熱心な中日ドラゴンズのファンです。

【主な担当】●後援会事務全般 ●ホームページ・理工学部紹介DVD・会報誌Scopeなどの広報関係 ●フレッシュマンセミナー・ご父母のための進路セミナー・家庭教育支援セミナーなど

吉本直美 会計幹事(事務局次長)

後援会業務以外にも研究者としての一面も持っています。人間科学博士も取得し、年に数回の学会発表もこなし、さらに多くの研究会にも参加しています。自己研鑽に忙しいながらも、趣味の時間も大切に、海外旅行をするなどエネルギーに活動しています。

【主な担当】●後援会会計および事務全般 ●地区懇談会・育英給費生制度・後援会寄贈図書・学生奨励表彰制度・名簿管理など

林友美 契約職員

後援会事務局には、学生さんや先生方ほか、様々な方が訪ねていらっしゃいます。皆さまのお役に立てるよう、仕事に励む日々です。5年ほど前から趣味のひとつとして書道に取り組んでおり、筆を手に、心を鎮めています。その一方、大学生の娘と、劇団四季のミュージカルを観て心躍らせるひとときも、大切なフレッシュの時間です。

理工学部後援会ホームページ <http://www.meijo-rikokoen.jp>
Tel&Fax 052-831-9214 jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

ご父母の相談窓口	学生の健康相談 こころの相談	学生の進路 キャリアプラン の相談	成績・履修などの 相談	奨学金などの 相談
理工学部後援会事務局	保健センター	キャリアセンター	学務センター (理工学部)	学務センター (生活支援G)
Tel 052-831-9214 (直通) [11号館] 2階 月~金曜日 9:00~17:30	Tel 052-838-2031 (直通) [本部棟] 1階 月~金曜日 8:50~21:00 (土曜日は17:20まで)	Tel 052-838-2040 (直通) [タワー75] 4階 月~金曜日 8:50~18:30 (土曜日は17:20まで)	Tel 052-838-2023 (直通) [タワー75] 3階 月~金曜日 8:50~18:30 (土曜日は17:20まで)	Tel 052-838-2028 (直通) [タワー75] 4階 月~金曜日 8:50~18:30 (土曜日は17:20まで)

分からないこと、
気になること、
心配事はこちらへ
ご相談ください。

女子駅伝部 杜の都駅伝で優勝!

平成29年10月29日に宮城県仙台市で行われた「第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)」において、名城大学女子駅伝部が12年ぶり2回目の優勝を果たしました。